

# 長崎県・福建省 友好県省締結40周年記念事業

## 長崎県・福建省友好県省締結40周年 オンライン記念式典

2022年(令和4年)9月29日

両国の新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、訪問団の相互派遣を取りやめ、オンラインで記念式典を開催しました。

出席した趙龍省長は挨拶の中で「友好締結時の初心を再び振り返り、共に力を尽くし、全面的に友好都市関係を深め、協力分野を広げ、友情の橋、協力の橋を固く築き上げ、共に中日友好に寄与していく」と述べられました。これに対し、大石知事は「長崎県と福建省とのこれまで40年にわたる交流の積み重ねを基礎として、文化、経済、教育など様々な分野において、今後一層の交流、協力を深めていく」と応じました。

また、孔鉉佑中国駐日本国大使と垂秀夫在中国日本国大使からビデオメッセージによる祝辞をいただきました。孔大使からは「1982年福建省と長崎県が友好省県締結して以来、双方は歴史・文化の強みを生かし、豊富な交流と協力をを行い、経済貿易、環境保全、文化教育、観光などの各分野で実り多い成果を挙げ、両国民の相互理解の増進と中日関係の改善発展に積極的に寄与してこられた」とのお言葉をいただき、垂大使からは「長崎県と福建省は、共に日中交流の架け橋として古くから大きな功績を残しており、空海、鄭成功、隠元等日中両国の『互いに助け合う人間ドラマ』の舞台となってきた」ことに触れていただき、「こうした『人間ドラマ』を後押しする自治体交流は、日中関係の絆を更に深めていく上で、欠くことができない重要な役割を担っており、今後とも、微力ながらも長崎県と福建省の交流を最大限支援してまいります」とのお言葉をいただきました。

このほか、両地域の40年にわたる交流の歩みを紹介する記念動画を放映したほか、次の世代を担う高校生から未来に向けた友好のメッセージが発表されるなど、終始和やかな雰囲気の中で終了しました。



## 長崎県・福建省青少年オンライン交流会

若者同士の相互理解及び交流促進を図り、両県省の友好の絆をさらに深めるため、本県の高校生と福建省の高校生がオンラインで交流を深めました。

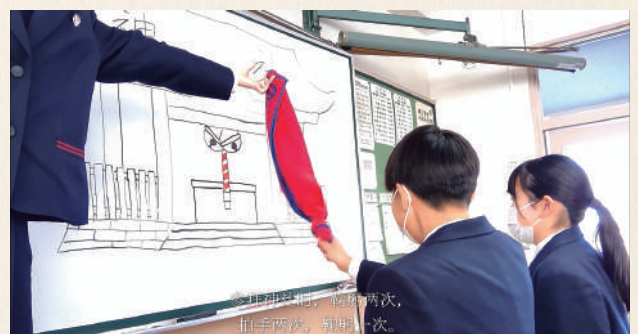
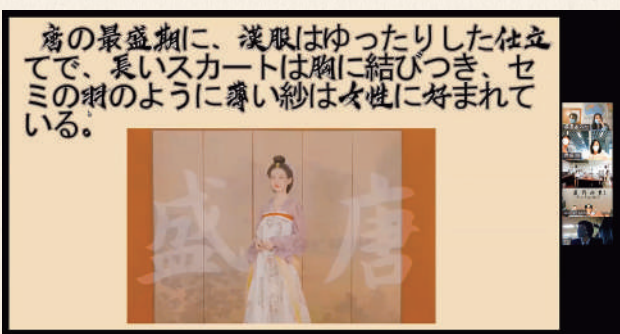
本県からは佐世保商業高校と諫早商業高校が参加し、佐世保商業高校は廈門工商旅遊学校と、諫早商業高校は漳州市第一外国語学校とそれぞれ計3回ずつ交流会を実施しました。

参加した高校生たちは、事前に準備したパワーポイントを使って地域や文化を紹介。中国の生徒は実演を交えて、民族楽器やお茶の文化を紹介し、長崎の生徒は郷土芸能の「のんのこ踊り」を披露したほか、長崎の方言などを中国語で紹介しました。

また、短編動画の撮影・編集にも挑戦し、学生たちが自分たちでアイデアを出し合い、それぞれの地域の町並みや魅力、日々の学校生活の紹介だけでなく、中国伝統衣装の「漢服」の魅力や日本の年越しなどについてナレーション付きで動画を作成しました。手作りの動画を通してお互いの国や地域について学ぶことができ、相互理解を深めることができました。

参加者の皆さんには、今回の経験をきっかけに今後も友好の輪を未来に向けて大きく広げていってほしいと思います。





## 「長崎の黄檗—隠元禅師と唐寺をめぐる物語—」開催

隠元禅師350年大遠諱、日中国交正常化50周年、福建省との友好県省締結40周年の節目の年に、長崎歴史文化博物館において企画展を開催しました。

本企画展では、承応3年(1654年)の隠元禅師の来日を起点としてその事蹟を辿りながら江戸時代の文化に多大な影響を与えた黄檗文化の源流を紐解き、また、近年の調査によって見出された唐寺の寺宝を中心に、「長崎ならではの黄檗文化」について紹介しました。



## 日中「孫文・梅屋庄吉」塾2022

2022年9月7日から9日までの3日間、県内の日本人大学生と中国人留学生が交流する「日中『孫文・梅屋庄吉』塾2022」を実施しました。

本事業は、孫文と梅屋庄吉の友情や長崎と中国の交流の歴史を学び、学生たちに長崎と中国の友好の架け橋になってもらうことを目的とし、平成26年度より毎年実施しています。今年度は梅屋庄吉の妻である梅屋トクゆかりの地、壱岐にて初めての開催となりました。

プログラム内では3日間を通して梅屋庄吉の曾孫にあられる小坂文乃様にご同行いただき、孫文と梅屋庄吉が築いた友情について詳しく教えていただきました。

最終日には今後の国際交流の在り方を考えるグループ討議を行いました。共通のテーマについて相互理解を深めながら真剣に話し合う学生たちの様子は、同じ志を持って友情を築いた孫文と梅屋庄吉の姿と重なりました。

